

令和7年度 小田原高等学校同窓会懇友会総会 次第

令和7年5月11日（日）10時00分から
小田原高等学校 視聴覚室

1 閉会のことば

2 会長挨拶 吉川 会長

3 校長挨拶 大谷 校長

4 議長の選出

5 議事録署名人の選出

6 議事

(1) 常任幹事会に付託した事項の審議結果報告

- | | |
|--------------------------|----------|
| ア 令和6年度 会務報告及び事業報告について | (資料-1、2) |
| イ 令和6年度一般会計決算及び財産台帳について | (資料-3、4) |
| ウ 令和7年度 事業計画について | (資料-5) |
| エ 令和7年度 一般会計予算について | (資料-6) |
| オ 常任幹事会(令和7年4月19日開催) 議事録 | (資料-7) |

(2) 協議事項

ア 令和8年度の懇友祭・総会の開催日

令和8年5月10日(日)

(3) その他

7 閉会のことば

(資料一覧は、裏面に記載)

資料一覧

- 資料－1 令和6年度 会務報告
- 資料－2 令和6年度 事業報告
- 資料－3 令和6年度 一般会計決算
- 資料－4 令和6度 財産台帳
- 資料－5 令和7年度 事業計画
- 資料－6 令和7年度 一般会計予算
- 資料－7 常任幹事会（令和7年4月19日開催）議事録

参考資料－1 同窓会役員名簿（令和7年4月現在）

参考資料－2 「『がんばれ！小田高』応援基金」会計報告

参考資料－3 小冊子「桜友会」

令和6年度 会 務 報 告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

月	運営委員会・常任幹事会	委 員 会	地域・職域等同窓会	同窓会・学校関連行事等
令和 6年 4月	6（土）運営委員会 20（土）常任幹事会	6（土）樺友祭実行委員会 15（月）樺友祭実行委員会		1（月）史料館公開（新着任教職員） 8（月）第79回入学式 9（火）、11（木）史料館公開（新入生）
5月	11（土）運営委員会	11（土）樺友祭実行委員会		
12（日） 樺友祭（小田高ホームカミングデー）・定期総会				
			18（土）湯河原地区小田高会	18（土）かながわ校歌振興会実行委員会
6月	8（土）運営委員会	8（土）樺友祭実行委員会 14（金）交流委員会 26（木）総務委員会	21（金）税理士樺友会 29（日）県警八幡会	8（土）「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会 15（土）、16（日）史料館公開（小田高祭） 29（土）校史資料研究協議会
7月	13（土）運営委員会		12（金）小田原市役所樺和会 17（水）県庁小田高会	
8月				3（土）史料館公開（学校説明会） 10（土）かながわ校歌振興会実行委員会
9月	7（土）運営委員会	2（月）総務委員会 14（木）「卒業生の活躍」プロジェクト 29（日）史料委員会		7（土）「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会 21（土）青春かながわ校歌祭（平塚）

10月	5（土）運営委員会 11（金）広報委員会 12（土）樫友祭実行委員会 20（日）広報委員会	5（土）横浜銀行小田中・小田高会 26（土）松田樫友会	19（土）史料館公開（学校説明会）
11月	2（土）運営委員会 3（日）広報委員会 16（土）広報委員会 20（水）樫友祭実行委員会 21（木）広報委員会		2（土）「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会 9（土）史料館公開（学校説明会） 30（土）史料館公開（PTA講演会） 30（土）樫友ウォーク（湯河原）
12月	7（土）運営委員会 10（日）会報「八幡山」第35号発行	4（水）総務委員会 7（土）樫友祭実行委員会	2（土）史料館公開（学校説明会） 7（土）「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会 15（日）校史資料研究協議会
7年 1月	11（土）運営委員会	8（水）「卒業生の活躍」充実プロジェクト会議 11（土）樫友祭実行委員会	11（土）「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会
2月	8（土）運営委員会	1（土）史料委員会 8（土）樫友祭実行委員会	8（土）「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会 28（金）6年度同窓会入会式（第77回）
3月	8（土）運営委員会	8（土）樫友祭実行委員会 16（土）樫友祭実行委員会 21（金）総務委員会	3（月）第77回卒業式 8（土）「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会

令和6年度小田原高等学校同窓会樫友会 事業報告

1 活動目標

令和6年度の活動目標として掲げた項目及びその結果は次のとおりである。

(1) 同窓会事業の着実な実施と周知活動の展開

同窓会樫友会は、毎月の運営委員会と総務委員会等5つの委員会を中心に運営しながら、年に一度の常任幹事会、総会の開催、樫友祭（小田高ホームカミングデー）の実施、春・秋に企画している樫友ウォークや在校生と同窓生が共に歌いあう「青春かながわ校歌祭」への参加、小田高と中等教育の歴史がわかる小田原高校中等教育史料館の開館などに、知恵や工夫を生かし、着実に実施するとともに、ホームページや広報紙を通して積極的な周知に努めた。

また、「卒業生の活躍」については、今後とも、様々な分野で活躍する卒業生の発掘に取り組み、その姿の紹介や講演会等に招へいするなど、その存在のアピールに努めた。

(2) 同窓会事業への参加促進と会費納入への協力

同窓会事業への参加を促進するためには、学年同期会をはじめ、地域・職域等同窓会、部活動OB会との協力や連携が不可欠であることから、引き続き、繋がりを強化し、ネットワークを広げて会費納入にも協力していただくように努めた。

また、同窓会窓梅会とも、中等教育史料館と窓梅会資料室の同時公開に協力しあうなど連携を図った。

2 委員会等の活動

(1) 総務委員会

- ア 令和6年4月新入生に入学記念品（小田高歌集QRコード付）を配布した。
- イ 樫友祭において、サイエンス分野の「卒業生の活躍」パネル展示を行うとともに、オリジナルグッズの販売、同窓会活動の紹介冊子「樫友会」を配布した。
- ウ 令和7年3月卒業生（高77回）に同窓会入会用案内パンフレットを作成し、配布した。
- エ 令和7年3月卒業生（高77回）に入会記念品（モバイルバッテリー）を贈呈した。
- オ 会員名簿情報（住所変更、物故者、新会員登録、教職員異動など）を隨時更新した。
- カ 会員管理ソフト「幹事長」のデータを更新し、同期会や部活動OB会への住所情報支援等に活用した。

(2) 交流委員会

- ア 令和6年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）の開催
 - 八幡山トーク等の事業をコロナ禍前の雰囲気を取り戻し、約300名の参加で、5月12日（日）に開催した。
 - 総会及び八幡山トーク等主要3催事をビデオ収録し、樫友会ホームページ及び樫友祭ホームページに掲載し、見える形で記録を残した。

- イ 会員の親睦を深めるための交流事業を実施した。
 - 檻友ウォークを 11 月 30 日（土）に湯河原地区小田高会の協力のもと、紅葉の奥湯河原で実施した。
- ウ 在校生を応援する交流事業を実施した。
 - 母校の昼休みに視聴覚室で、スタインウェイピアノを使用して行われる約 20 分ミニコンサートを 5 回実施し、出演者の謝礼、交通費の補助をした。また、新入生及び新任教職員に小冊子「卒業生の活躍 サイエンス篇」を配布した。
- エ 令和 7 年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）の企画、準備を進めた。

(3) 広報委員会

- ア 会報「八幡山」36 号を 12 月に発行し、会報が届いていない会員のために、会員通信や個人情報の係るものを除き、樫友会ホームページに掲載した。また、会報「八幡山」36 号に広告を掲載し、同窓会の財源確保に努めた。
- イ 樫友会ホームページを活用し、同窓会活動の周知、参加呼び掛けの手段として活用した。
- ウ ホームページを会員及び会員相互の情報発信の場としての利用をより一層促進した。
- エ 樫友祭の開催を多くの会員に告知することを目的に、樫友祭フェイスブックページを活用し、樫友会ホームページと合わせ、広報の充実を図った。

(4) 史料委員会

- ア 中等教育史料館の公開
 - 公開スタッフ（ボランティア）の募集を継続し、公開スタッフが受付や案内を行う体制づくりを進めた。現在 6 名。
 - 企画展「小田高とシナリオ作家 山田太一」を開催した。
- イ 史料の保存と活用
 - 大型剥製標本タカアシガニのクリーニング・補修を行った。
- ウ 校史資料研究協議会
 - 展示室運営や史料保存のため、協議会が 2 回開催され、意見交換等を行った。

(5) 校歌祭委員会

第 19 回青春かながわ校歌祭は、9 月 21 日（土）に平塚江南高校同窓会会长が実行委員長となり、ひらしん平塚文化芸術ホールで開催された。

樫友会は、大太鼓に合わせ校歌・応援歌を熱唱した。

(6) 「卒業生の活躍」充実プロジェクトチーム

- ア 「掲載者選考会」で、史料委員会の調査に基づき、データベースの充実を図った。
- イ 各委員会が協力し、次の事業を実施した。
 - ① 総務委員会
 - 小冊子「樫友会」に「卒業生の活躍」情報を掲載した。

② 交流委員会

- 新入生と新任教職員に小冊子「卒業生の活躍 サイエンス篇」を配布した。

③ 広報委員会

- 同窓会報「八幡山」に同窓生の活躍に関する情報提供の依頼記事を掲載した。

④ 史料委員会

- 同窓会会員名簿等をベースに、卒業生の調査を進めた。
- 史料館画廊の「卒業生の活躍」パネルを更新した。

3 その他

(1) 小田高祭への参加

令和6年6月に開催され、サイエンス分野の「卒業生の活躍」パネル展示を行い、中等教育史料館を公開するなどで、樺友会として参加した。

(2) 女性の役員登用について、各種役員・委員に女性が参加するように呼びかけた。

神奈川県立小田原高等学校同窓会
令和6年度一般会計決算書

資料-3

自：令和6年4月 1日

至：令和7年3月31日

(単位：円)

項・目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	説明
前期繰越資金(ア)	1, 427, 583	1, 427, 583	0	前年度からの繰越
収入の部				
1 入会金	1, 565, 000	1, 560, 000	△5, 000	
1 新卒者入会金	1, 560, 000	1, 560, 000	0	同窓会入会金312名(高76回)
2 中途者入会金	5, 000	0	△5, 000	
2 会費	6, 120, 000	5, 905, 000	△215, 000	
1 年会費	3, 570, 000	3, 420, 000	△150, 000	年会費 1, 192名
2 終身会費	2, 550, 000	2, 485, 000	△65, 000	終身会費 829名
3 寄付金	10, 000	343, 000	333, 000	窓梅会ほか
4 負担金収入	0	0	0	
5 広告料等収入	250, 000	195, 000	△55, 000	同窓会会報広告料等15件
6 雑収入	27, 417	103, 975	76, 558	名簿等販売代、利息ほか
7 繰入金	500, 000	0	△500, 000	
収入計(イ)	8, 472, 417	8, 106, 975	△365, 442	
合計(ア)+(イ)	9, 900, 000	9, 534, 558	△365, 442	

(単位：円)

項・目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(A-B)	説明
支出の部				
1 事務費	1, 260, 000	1, 054, 373	205, 627	
1 事務局費	600, 000	538, 568	61, 432	事務局運営経費
2 常任幹事会費	180, 000	152, 688	27, 312	常任幹事会開催経費
3 校内幹事費	10, 000	0	10, 000	
4 会員連絡費	20, 000	1, 645	18, 355	会員連絡経費
5 涉外費	80, 000	25, 085	54, 915	慶弔費、慰労金
6 消耗備品費	90, 000	81, 138	8, 862	事務用消耗品代
7 雑費(振入手数料)	280, 000	255, 249	24, 751	会費等振入手数料
2 事業費	7, 510, 000	6, 551, 805	958, 195	
1 横友祭・総会費	800, 000	777, 349	22, 651	横友祭、総会経費
2 入会記念品費	450, 000	385, 330	64, 670	同窓会入会記念品代
3 総務委員会費	170, 000	111, 330	58, 670	総務委員会経費
4 交流委員会費	320, 000	185, 030	134, 970	交流委員会経費、交流事業経費
5 広報委員会費	70, 000	9, 640	60, 360	広報委員会経費
6 史料委員会費	70, 000	46, 711	23, 289	史料委員会経費
7 校歌祭委員会費	300, 000	315, 870	△15, 870	校歌祭参加経費
8 会報発行費	4, 500, 000	4, 286, 481	213, 519	同窓会報36号印刷・発送経費
9 広報費	270, 000	253, 413	16, 587	同窓会ホームページ管理等経費
10 地域職域同窓会費	200, 000	121, 000	79, 000	地域職域同窓会参加費
11 同期会結成補助費	100, 000	0	100, 000	
12 中等教育史料館費	260, 000	59, 651	200, 349	中等教育史料館運営経費
3 教育費	630, 000	586, 520	43, 480	
1 教育活動費	550, 000	510, 000	40, 000	部活動全国大会等参加激励金

2 学校援助費	80, 000	76, 520	3, 480	ピアノ調律代、小田高祭参加費
4 積立金	200, 000	200, 000	0	
1 記念事業積立金	200, 000	200, 000	0	記念事業積立金
2 予算調整積立金	0	0	0	
5 予備費	300, 000	0	300, 000	
1 予備費	300, 000	0	300, 000	
支 出 計 (ウ)	9, 900, 000	8, 392, 698	1, 507, 302	
当期収支差額 (イ) - (ウ)	-	△285, 723	-	

前期繰越資金 (ア)	収 入 計 (イ)	支 出 計 (ウ)	次期繰越資金
1, 427, 583	8, 106, 975	8, 392, 698	1, 141, 860

上記について、収入・支出伝票、帳簿、通帳を監査しましたところ、正確であることを認めます。

令和7年4月9日

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 室伏 創之 

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 佐藤 仁 

神奈川県立小田原高等学校同窓会

資料-4

財産台帳

自：令和6年4月 1日

至：令和7年3月31日

【基本金・積立金】

(単位：円)

資産の種類	預貯金名	期首残高	増減額	期末残高
1 基本金	横浜銀行 積立定期預金	11, 532, 454	196	11, 532, 650
	さがみ信用金庫 積立定期預金	13, 447, 742	228	13, 447, 970
2 記念事業積立金	横浜銀行 積立定期預金	1, 491, 090	200, 024	1, 691, 114
3 予算調整積立金	さがみ信用金庫 普通預金	5, 410, 069	2, 826	5, 412, 895
合 計		31, 881, 355	203, 274	32, 084, 629
増減額の内訳	増の内訳	・預金利息 3, 274 (基本金: 424、積立金: 2, 850) ・記念事業積立金の積み増し 200, 000 ・予算調整積立金の新規積み立て 0		

【保管金】

(単位:円)

資産の種類	預貯金名等	期首残高	期末残高
4 保管金	横浜銀行口座	入会金	1, 560, 000
		年会費	1, 811, 978
		その他	0
		計	3, 371, 978
	郵便局振替口座	年会費等	768, 449
		終身会費	10, 261, 158
		その他	0
		計	11, 029, 607
	ゆうちょ銀行口座	一	1, 401, 627
	小口資金	一	25, 956
		計	1, 427, 583
合 計		15, 829, 168	14, 776, 483
残高の内訳		前期前受金 14, 401, 585	当期前受金 13, 634, 623
		一般会計前期繰越資金 1, 427, 583	一般会計次期繰越資金 1, 141, 860

【基本金・積立金・保管金】

(単位:円)

合 計	47, 710, 523	46, 861, 112
-----	--------------	--------------

注) 一般会計では、現金預金から次年度前受分を差し引いた金額を「資金」として取り扱っている。

上記について、預貯金通帳、証書等を監査しましたところ、正確であることを認めます。

令和7年4月9日

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 室伏 創之 印

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 佐藤 仁 印

令和7年度小田原高等学校同窓会樫友会 事業計画

1 活動目標

(1) 同窓会事業と周知活動の展開

小田原高校は本年創立125年を迎えました。同窓会樫友会は、会の目的である「会員相互の親睦」、「母校の発展に寄与」、「社会への貢献」に向けて、引き続き時代の変化や動向を踏まえ、事務局が一丸となって取り組む。具体的には、運営委員会と総務等各委員会を中心に、常任幹事会、総会の開催を定期に開催するとともに、樫友祭（小田高ホームカミングデー）や春・秋の樫友ウォークの実施、在校生と同窓生が共に歌いあう「かながわ校歌祭」への参加、また、小田高と中等教育の歴史がわかる小田原高校中等教育史料館での企画などへ知恵や工夫を生かして参加を募り、ホームページや広報紙を通して積極的に周知します。

また、「卒業生の活躍」については、様々な分野で活躍する卒業生を紹介し、講演会等に招へいするなど、その活躍している姿を在校生にも見ていただくように大いにアピールします。

(2) 同窓会事業への理解と会費納入への協力のお願い

同窓会樫友会の発展のためには、学年同期会をはじめ、地域・職域等同窓会、部活動OB会との協力や連携が不可欠であることから、今後とも繋がりを強化し、ネットワークを広げて取り組みます。また、同窓会窓梅会とこれからも中等教育史料館と窓梅会資料室の同時公開などに連携を図っていきます。

更に、樫友会が会の目的に沿って計画的に同窓会事業に取り組むためには、その活動への参加促進とともに、その活動の原資となる会費等の納入に引き続きご理解・ご協力いただくことをお願いします。

2 委員会等の活動

(1) 総務委員会

- ア 令和7年4月新入生に入学記念品（小田高歌集QRコード付）を配布する。
- イ 令和7年5月樫友祭において、同窓会活動の紹介冊子「樫友会」を配布するとともに、地域医療分野の「卒業生の活躍」のパネル展示を実施する。
- ウ 令和8年3月卒業生（高78回）に同窓会入会用パンフレットを配布する。
- エ 令和8年3月卒業生（高78回）に入会記念品を贈呈する。
- オ 同期会を結成した卒回に対し、同期会結成補助金を交付する。
- カ 会員名簿情報（住所変更、物故者、新会員登録、教職員異動など）を随時更新する。
- キ 会員ソフト「幹事長」のデータを更新し、同期会への住所情報支援等に活用する。

(2) 交流委員会

ア 令和7年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）の実施

5月11日（日）に、主催者のメイン企画として、次の事業を実施する。

① 八幡山トーク

「産業としての日本農業の担い手は誰か？」

② 八幡山コンサート

わをんコンサート

③ 中等教育史料館の公開

企画展「大型剥製標本と鉱物標本」

イ 会員の親睦を深める交流事業の実施

○ 「樫友ウォーク」

年1回開催予定（時期未定）

ウ 在校生を応援する交流事業を実施する。

○ 樫の葉コンサートの支援（5回程度開催予定）

○ 在校生と新任教職員に小冊子「卒業生の活躍」小冊子を配布

エ 令和8年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）の企画、準備を進める。

(3) 広報委員会

ア 会報「八幡山」37号を12月に発行する。掲載内容は概ねこれまでの会報に準ずる。また、広告掲載の状況を見ながら、会員の情報発信と交流の場に相応しい掲載内容の充実を図る。

イ 樫友会ホームページの周知を図るとともに、同窓会活動の周知、参加呼びかけの手段としての活用や、会員及び会員相互の情報発信の場としての利用を一層促進する。

(4) 史料委員会

ア 中等教育史料館の公開

○ 史料館公開スタッフ（ボランティア）10名を目標に募集を継続し、公開スタッフが受付や案内を行う体制づくりを進める。

○ 企画展「大型剥製標本と鉱物標本」を開催する。

○ 保護者の見学機会を増やすため、PTAと連携し、7月のスポーツ大会で公開する。

○ 窓梅会と連携し、公開行事で窓梅会資料室の同時公開を進める。

イ 史料館の整備

シナリオ作家山田太一（高5）コーナーを新設する。

ウ 史料の保存・活用

○ VHSビデオテープなどのDVD化を進める。

○ 生物標本群のクリーニング・補修を進める。

エ 校史資料研究協議会

展示室運営と史料保存のため、意見交換等を行う。

(5) 校歌祭委員会

第20回青春かながわ校歌祭は、川崎高校柏葉会会長が実行委員長となり、10月18日（土）に「やまと芸術文化ホール」で開催することが決定している。

校歌祭委員会を中心に出演する方向で準備を進め、学校側の理解と協力を得て、出演する。

(6) 「卒業生の活躍」充実プロジェクトチーム

ア 「掲載者選考会」で、史料委員会の調査に基づきデータベースの充実を図る。

イ 各委員会が協力し、次の事業を進める。

① 総務委員会

- 新たな「卒業生の活躍」パネルを作成・展示する。
- 小冊子「櫻友会」に「卒業生の活躍」情報を掲載する。

② 交流委員会

- 新入生と新任教職員に小冊子「卒業生の活躍 サイエンス篇」を配布する。
- 新たな小冊子「卒業生の活躍」を作成する。

③ 広報委員会

- 同窓会会報「八幡山」に同窓生の活躍に関する情報提供依頼記事を掲載するなど、情報発信に努める。

④ 史料委員会

- 同窓会員名簿等をベースに卒業生の調査を進める。
- 史料館画廊の「卒業生の活躍」パネルを更新する。

3 その他

(1) 6月に開催される小田高祭に同窓会として参加する。

(2) 各種役員・委員に多くの女性が参加するように、呼びかけを行う。

令和7年度一般会計予算

(単位：円)

項・目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	摘要
前期繰越資金	1,141,860	1,427,583	前年度からの繰越金
収入の部			
1 入会金	1,545,000	1,565,000	
1 新卒者入会金	1,540,000	1,560,000	高校77回卒入会金(308名分)
2 中途入会者	5,000	5,000	中途入会者(1名分)
2 会費	6,090,000	6,120,000	
1 年会費	3,600,000	3,570,000	年会費(1,200名分)
2 終身会費	2,490,000	2,550,000	終身会費(830名分)
3 寄付金	30,000	10,000	寄付金
4 負担金収入	250,000	0	校歌祭参加者、がんばれ小田高基金
5 広告料等収入	250,000	250,000	樺友祭祝金、会報広告掲載料
6 雑収入	33,140	27,417	記念史等販売代、利息
7 繰入金	1,600,000	500,000	予算調整積立金から繰入
合計	10,940,000	9,900,000	
支出の部			
1 事務費	2,520,000	1,260,000	
1 事務局費	600,000	600,000	事務局運営経費
2 常任幹事会費	180,000	180,000	常任幹事会開催経費
3 校内幹事費	10,000	10,000	校内幹事会開催経費
4 会員連絡費	10,000	20,000	会員連絡経費
5 涉外費	50,000	80,000	慶弔費
6 消耗備品費	1,390,000	90,000	エアコン設置経費、事務用備品
7 雑費(振込手数料)	280,000	280,000	年会費等振込手数料
2 事業費	7,290,000	7,510,000	
1 樺友祭・総会費	700,000	800,000	樺友祭・総会開催経費
2 入会記念品費	400,000	450,000	入会記念品代
3 総務委員会費	370,000	170,000	総務関係経費、小田高歌集製作
4 交流委員会費	300,000	320,000	交流事業開催経費
5 広報委員会費	50,000	70,000	会報編集等経費
6 史料委員会費	70,000	70,000	史料収集等経費
7 校歌祭委員会費	500,000	300,000	校歌祭参加経費
8 会報発行費	4,300,000	4,500,000	会報印刷・発送経費
9 広報費	270,000	270,000	ホームページ管理経費
10 地域職域同窓会費	150,000	200,000	地域職域同窓会参加経費
11 同期会結成補助費	50,000	100,000	同期会結成補助金
12 中等教育史料館費	130,000	260,000	企画展等経費、管理運営経費
3 教育費	630,000	630,000	
1 教育活動費	550,000	550,000	部活動激励金、教育活動支援費
2 学校援助費	80,000	80,000	ピアノ調律代ほか学校援助経費
4 積立金	200,000	200,000	
1 記念事業積立金	200,000	200,000	記念事業積立金
2 予算調整積立金	0	0	予算調整積立金
5 予備費	300,000	300,000	
1 予備費	300,000	300,000	予備費
合計	10,940,000	9,900,000	

令和7年度小田原高校同窓会常任幹事会議事録

日時 令和7年4月19日（土）15:00～16:29
会場 小田原お堀端コンベンションホール

1 開会（15時00分）

司会の山本副会長より開会宣言があった。

2 吉川会長あいさつ

日頃から同窓会活動にご理解とご協力と本日への会議参加に感謝します。

今年は母校の創立125年を迎える、同窓会活動でも、校史展示室で昨年は100回大会を迎えた「箱根駅伝」や昨年は山田太一さんを取り上げた企画展を実施するなど、在校生に様々な分野での先輩の活躍を取り上げるなどアピールに努めている。

今日の会議では、6年度の事業を総括し、7年度に向けた取り組みをご審議いただくとともに、総会や桜友祭を始めとする事業を今年度も推進して行きたい。

皆様の協力を得ながら、引き続き事業に取り組んでいきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

3 大谷学校長あいさつ

昨年4月に着任し、2年目を迎えたが、今年、新たに319名の新入生を迎え、授業も始まり、新たな取り組みがスタートした。学力向上進学重点校やスーパーサイエンスハイスクール（SSH）を中心とした取り組みも2年目を迎え、在校生と教職員が一緒に取り組みを進めている。県内で学力向上進学重点校は8校、SSHは9校指定されているが、両方とも取り組みは県内で4校だけであり、こうした環境をもとに、新入生の目指す目標に向け、さらに取り組みを進めたい。

引き続き、同窓会のご協力に感謝しながら、推進に努めたい。

4 足数の確認

司会が、常任幹事会構成数96過半数は48、構成出席者15（会議出席者21人）委任状提出構成者40人の合計55人で定足数に達していることを報告。

5 議長選出

高16回湯河原桜友会会长小澤 稔氏を選出した。

6 議事録署名人選出

高21回同期会 新保 明氏、松田桜友会 吉田 功氏（高31）を選出した。

以下、常任幹事会の次第の順に、議事を進める。

7 議事

（1）総会付託事項

- ア 令和6年度会務報告、事業報告、一般会計決算、財産台帳について
- イ 会計監査の結果報告について の2件を一括審議

アについて、会長、各委員長及び会計より、配布資料1～5をもとに説明した。
イについては、「4月9日に会計監査を実施した結果、会計処理は適切であったと認める。」と会計から報告があった。

議長が質問等を受け付けるものの、質問等の発言はなく、採決を行ったところ、原案どおり承認されたった。

ウ 令和7年度事業計画(案)及び一般会計予算(案)について
会長及び各委員長及び会計より配布資料6、7をもとに説明した。

議長が質問等を受け付けるものの、質問等の発言はなく、採決を行ったところ、原案どおり承認されたった。

(2) 総会付議事項

ア 令和8年度総会の開催について
議長から、令和8年5月10日(日)10時～ 小田原高校 視聴覚室で開催するということを報告し、承認された。

本日の協議を受け、5月11日(日)開催の令和7年度同窓会総会に、「(1)の総会付託事項は、常任幹事会の承認事項として報告し、(2)総会付議事項は、総会で審議することとします」と、議長が発言した。

(3) その他

その他については、小田高祭の開催期日についての質問があり、校長が6月14日、15日に開催予定であることを説明した。

8 閉会(16時29分)

司会の山本副会長が閉会を宣言した。

令和7年4月19日(土)に開催された令和7年度小田原高校同窓会常任幹事会の議事内容は、上記のとおりであることを確認する。

令和7年4月24日

議長 小澤 稔 印

議事録署名人 新保 明 印

議事録署名人 吉田 功 印

令和6年度「『がんばれ！小田高』応援基金」会計報告

自 令和 6年4月 1日
至 令和 7年3月31日

収入の部（円）

項目	金額	備考
繰越金	3,740,174	
寄付（個人）	422,000	77名
寄付（団体）	36,070	2団体
横浜銀行預金利子	1,582	
計	4,199,826	

支出の部（円）

項目	件数	金額	備考
進路指導・進学研究	1	93,912	教員向けセミナー受講料（英語・国語・社会・理科）
勉強合宿・勉強会	0	0	
理科教育	0	0	
学校説明会	0	0	
部活動	1	22,126	体育館・武道場工事に伴う代替施設への生徒交通費の補助
運営費	40	85,978	礼状用はがき購入 払込用紙印刷代 郵便振替払い込み料金 受払通知票郵送料
その他	0	0	
計	42	202,016	

差引の部（円）	4,199,826	—	202,016	=	3,997,810
---------	-----------	---	---------	---	-----------

参考資料

設立当初からの累計（円）

収入累計	14,439,664
支出累計	10,441,854
残高	3,997,810 次年度へ繰越

がんばれ！小田高応援基金のお礼状廃止について（令和7年4月1日）

これまで、ご寄付いただいた皆様にお礼状をお送りしておりましたが、発送業務を行う小田原高校校内幹事（小田高卒業の教職員）の減少と教員の業務改善等のため、お礼状の発送について、令和7年2月度がんばれ！小田高応援基運営委員会において審議の結果、がんばれ！小田高応援基金規約の第7条（受領葉書）を削除し、令和7年4月1日をもって廃止させていただくこととなりました。